



参加する！ 認知症支援

◆ 岩手県 矢巾町 ◆

矢巾町地域包括支援センター

認知症地域支援推進員 鱒沢 陽香

岩手県紫波郡

矢巾町

総人口	65歳以上人口	高齢化率
27,313人	6,613人	24.2%

平成29年8月1日現在

♪ 町の花・鳥・木



ゆり



かっこう

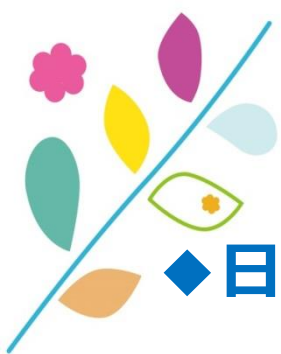


まつ

面積 67.32km²

矢巾町は県庁所在地である盛岡市の南に隣接したコンパクトな町です。

基幹産業は農業で、豊かな田園風景が広がる一方、数年後に予定されている医科大学付属病院の移転やスマートインターチェンジの開通に伴い、中心部では宅地や商業地の開発がすすんでいます。過疎化の深刻な岩手県において、将来人口の増加が想定される数少ない自治体の一つです。



◆日常生活圏域 1圏域

矢巾町地域包括支援センター（委託）

◆要介護認定者数 1,109人 ◆認定率 16.6%

◆第6期介護保険費 5,700円

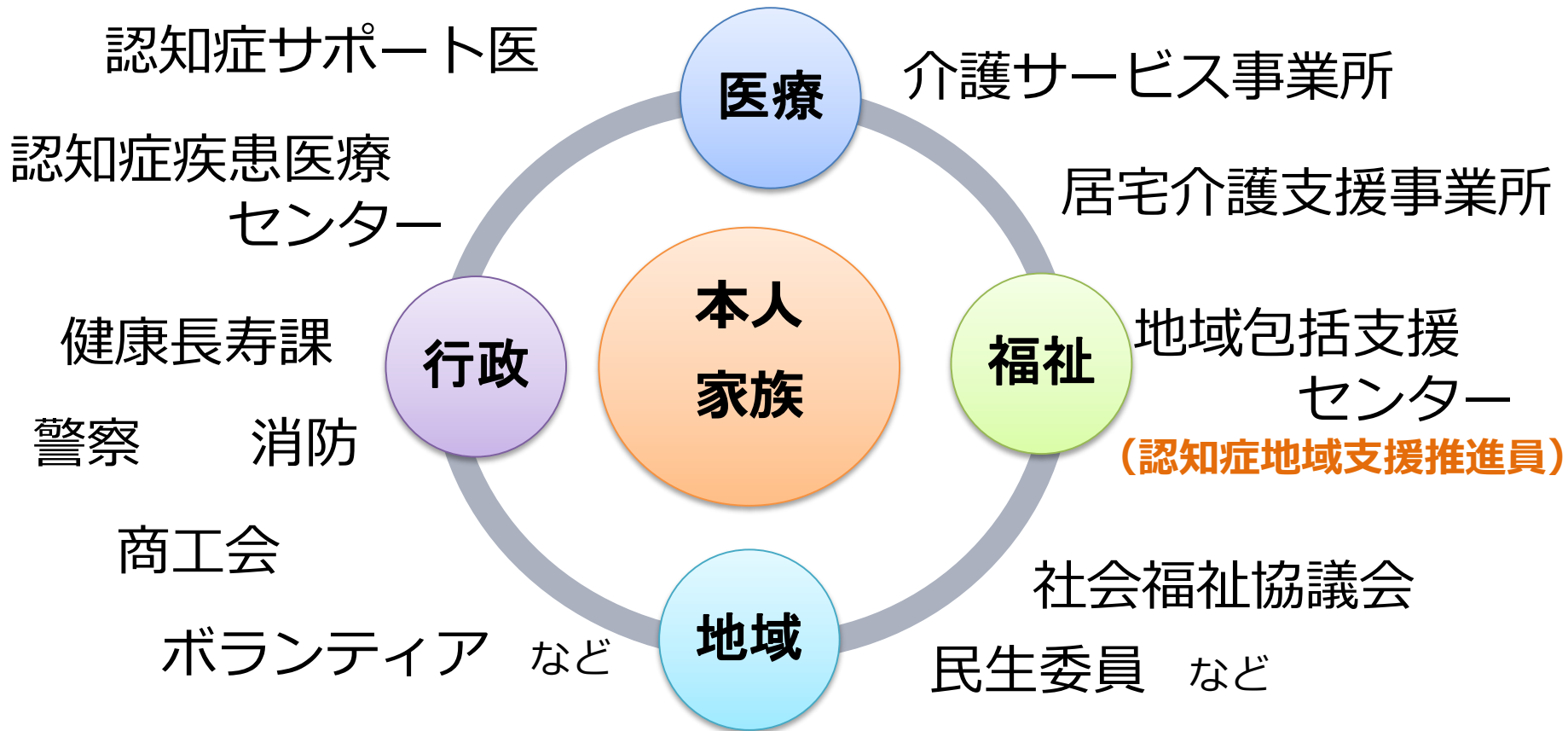


平成24年10月から

認知症地域支援推進員を矢巾町地域包括支援センターに
1名配置し、認知症支援の取組みを始めています。



やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク連絡会



やさしさはばたく 認知症支援ネットワーク連絡会



1. 医療連携・認知症ケア検討部会
2. わが町つながる部会
3. 安心安全おたすけ部会
4. 認知症支援開発部会



医療連携・認知症ケア検討部会

- ・ 医療と福祉、介護の連携をスムーズにする
- ・ 認知症介護に携わる人材育成とケアの向上

主な活動内容

- ・ 認知症ケアパスの作成
- ・ 情報共有ノート
- ・ 多職種協働の研修会・事例検討会の開催
- ・ 認知症ライフサポート研修
- ・ サポート医による勉強会
- ・ 認知症疾患医療センターとの定期連絡会議



認知症介護 新人研修

経験年数3年以内の職員を対象に認知症ケアの基本的理解、技術などを学ぶ研修です。

講師を町内の有資格者、専門職、医師などが担当しています。



多職種合同研修会 認知症ライフサポート研修

認知症の早期から終末期に至るまでの長い道のりを、切れ目なく支えていく多職種協働のチームづくりを目指すものです。



サンドイッチの会

認知症疾患医療センターとの定期的な連絡会議。
医療職を含めた多職種協働で勉強会を行います。



わが町つながる部会

- ・ 認知症の理解促進
- ・ 認知症サポーターの養成



主な活動内容

- ・ 矢巾町キャラバン・メイト連絡会 結成
「認知症サポーター養成講座」の活性化

- ・ 地域で活躍するボランティアを養成
「おれんじボランティア ねこの手」



- ・ 矢巾町認知症セミナーの開催
- ・ 地域資源ガイドの作成

矢巾町キャラバン・メイト連絡会結成！

(H25.7.25 さわやかハウス)



◆毎月、定例会を開催
(スキル向上のための
勉強会・情報交換)

◆町の健康福祉祭など
各種行事への参加

◆今後、新しい社会資源
を作り出すパートナーに

平成25年 結成当時

メイト数	16名
サポーター数	662名
総人口に占める割合	2.5%

平成29年8月末

メイト数	42名
サポーター数	3,651名
総人口に占める割合	13.4%



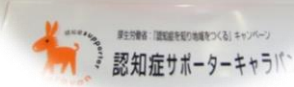


矢巾町の
介護ヒーロー

ジューモンジジャー

小学校での
認知症サポーター養成講座

オレンジリングを
つけましょう！



にんちしょう
認知症

いらいら
不安

わづれて
しまふ

おぼえら
れない

認知症の人の気持ち

自分にできることは？

3つの「ない」

おどろかせない

急がせない

脳の病気

しょうじょう
症状

あせる

考える
スピードが
おそくなる

計画を立て
て行動する

時間や場所が
わからない

泣く

悲しい

外に出た
くない

ジューミンジャーは

◆地域密着型サービス事業所連絡会◆

の取り組みです。

町内9事業所

介護老人福祉施設
グループホーム
小規模多機能居宅介護
認知症対応型デイ
小規模デイ



グループホーム
ユニットリーダー

小規模多機能
管理者



おれんじボランティア結成！ 「ねこの手」



活躍する
認知症サポーター



- 新総合事業 「訪問型サービスB」に！

認知症支援開発部会

- 本人と家族介護者の支援
- 地域性、時代、ニーズに合った支援の実施

主な活動内容

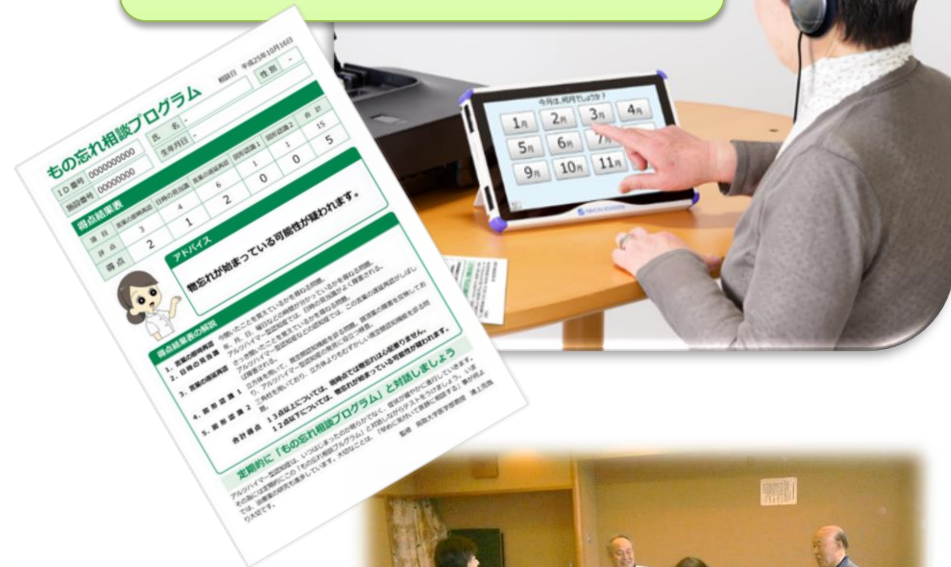
- 認知症相談の強化… 介護まちなか相談所
- 男性介護者の支援… 男の介護講座の実施
- 認知症カフェ … 毎月開催
- 認知症予防教室
… 脳いきいき教室
ごきげんサロン (男性高齢者のサロン)



認知症カフェ 就労支援事業所と共に



物忘れまちなか相談 町内のショッピングセンターで



もの忘れ相談プログラム

ID番号: 0000000000 性別: 男性/女性

相談日時: 0000000000 実施場所: 1 1 15

項目	1	2	3	4	5
初回訪問回数	3	4	6	0	0
経過	1	2	0	0	5
備考	2	1	2	0	0

アドバイス

物忘れが頻まっている可能性があります。

高齢者健忘の原因

1. 目覚めが早い
2. 夜間の頻尿
3. 睡眠不足
4. 食事不足
5. 薬の副作用

定期的に「もの忘れ相談プログラム」と対応しましょう



認知症予防教室 ボランティアさんのご協力



男性が介護学を
矢巾で講座

介護に悩む男性や今後介護を行う可能性のある男性に、介護の知識や技術を学んでもらおうと、矢巾町地域包括支援センターは25日、矢巾町南矢幅のさわかハウスで、「男の介護講座」を開いた。

同講座では、2日間わたって、介護の基礎知識やおむつなどの福祉用品の活用方法、家族をベッドから車いすに移動させるといった具体的な介護方法を学んでいく。この日は、6人の男性が参加し、講師役を務めた町内のグループホーム「太陽荘」の介護福祉士・菊地康貴さん(40)から認知症について講義を受けた。

菊地さんは、認知症の種類や症状を紹介した後、介護を原因とした息子や未だよる虐待が多いと指摘し、介護に直面した時、女性ほど誰かに相談できるが、男性は独りで悩むことが多いと語り、同町の会社員平野隆英さん(41)は、「相談窓口がある心ばかりで、初めて知ることが多かった。妻も私も高齢なので、備えておきたい」と話していった。

「男の介護講座」 男性スタッフ 男性のキャラバンメイト 男性のボランティア

安心安全おたすけ部会

- ・行方不明者の予防と早期発見の仕組みづくり
- ・高齢者の運転について考える

主な活動内容

- ・ 見守りSOSネットワーク
「SOSネットワーク模擬訓練」
- ・ 安全運転・免許返納に関する検討
- ・ 緊急搬送時のルールの周知、啓発など
- ・ 見守りボランティアの育成・支援（事務局運営）
「矢巾わんわんパトロール隊」

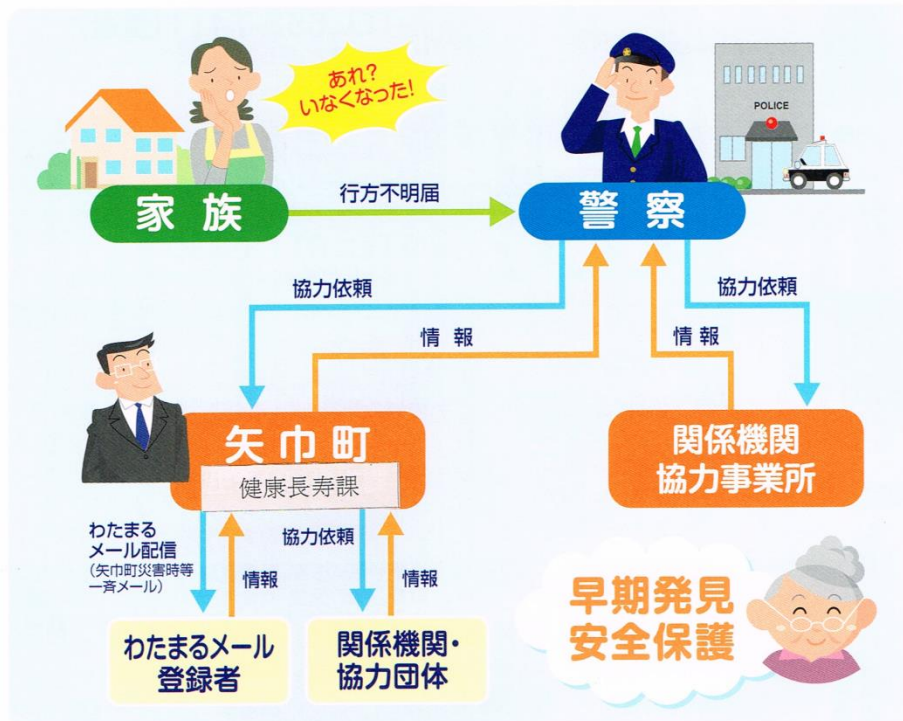


見守りSOSネットワーク

盛岡広域シルバーケアSOSネットワーク・システム

見守りSOSネットワークとは…

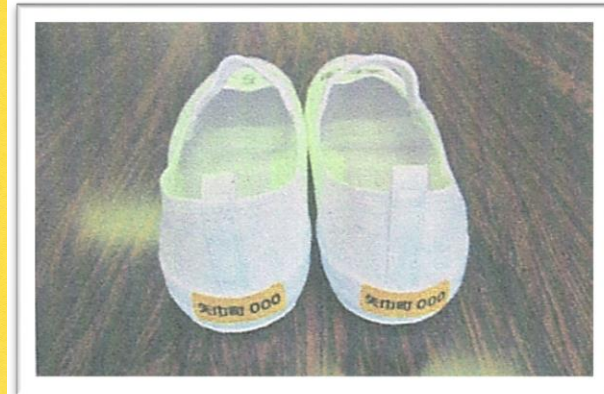
認知症の高齢者などが、ひとり歩きで道に迷ったり、行方不明になって捜索が必要となった場合に、警察と関係機関、協力者などが情報を共有し、連携をはかることで、早期発見と安全保護を目指すシステムです。



- 「いつのまにか外に出ていってしまう」「ひとり歩きで道に迷う」などの心配がある場合には事前の登録をおすすめします。
- わたまるメール（矢巾町災害時等一斉メール配信サービス）にご登録いただいて、見守り活動へのご協力をお願いします。

詳しくはこちらから

登録のご相談やお問い合わせは、矢巾町地域包括支援センターへ。



SOSネットワーク模擬訓練

(H28.10.1 新田地区)

- ・ 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症の理解を促進すること
- ・ いざという時に迅速に対応できるように、各自の役割と手順を理解すること



・矢巾わんわんパトロール隊



H25年4月結成

隊員50名 わん隊員48匹




H27年 矢巾町健康福祉祭にて

・ わんわんパトロール隊とは

目的： 認知症に関する正しい知識を持ち、
地域の高齢者の見守りを行う。

活動： 個人のペースでの見守り活動
月1回の情報交換会

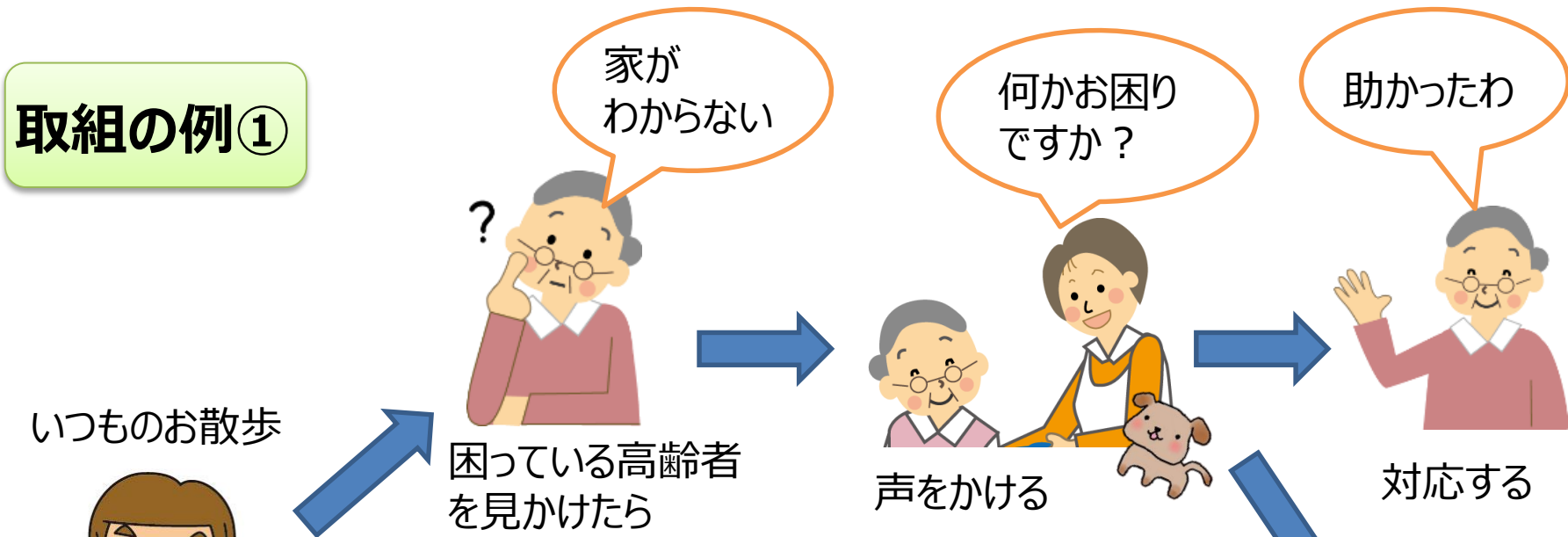


隊長の荒川さん
隊長犬サラちゃん

入隊時の「認知症サポーター養成講座」の受講と、
年に1回の認知症勉強会への参加を義務付け



取組の例①



取組の例②

普段と変わったことに気付いたら

・ わんわんパトロール隊の活動

◆今年度の主な活動

- ・ 情報交換会
- ・ SOSネットワークへの協力
- ・ わんパトフェスタの開催
- ・ 施設等への慰問

◆報告・発表

- ・ 「認知症の私と輝く大賞」受賞
- ・ 「行方不明を防ぎ、安心して外出できる地域づくり全国フォーラム」 東京
- ・ 「いわて徘徊SOSセミナー」
- ・ 雑誌「クロワッサン特別号」掲載
- ・ 「日本動物病院協会ニュースレター」掲載



・ わんパト活動の成果

- ◆ 支援が必要な人を早期に相談機関につなぐことが可能に。
- ◆ 見守りの気持ちが自然と地域に波及。



セラピー犬
モモ隊員

隊員
木村 豊さん



お手柄！
わんわんパトロール中に
徘徊中の高齢者を保護し、
自宅に送りました。



・つながりの拡大

第1回 YAHABA わんパトフェスタ



2016 入場無料

日時：平成28年
9月25日(日)
AM10:00~14:30(雨天決行)

場所：矢巾南公園(不來方高校裏)
Map



長袖わんわんパトロール着ぐるみ
全部セパレニードック
グレートピレニーズの
“ももちゃん”
もっています。
遊びに来てね!!

～矢巾わんわんパトロール隊は、地域で暮らす高齢者を見守るボランティアです～

トレーニング教室 Dog training school

- トレーニング教室(30分) 10:30～、13:00～
講師：横山永江 (あそぼう♪タロちゃん)
ほえる、かむ、言うことを聞かない犬のしつけに
苦労する家庭は多い。室内犬の飼育も増え、家畜の
一員として存在感が高まる今こそ、数少ない公認
訓練士として、飼い主の悩みに応えたい。
- 災害救助犬デモンストレーション(30分) 11:30～、13:30～
災害救助犬ネットワークで認定されている現役の災害救助犬たちが
災害救助の訓練をお見せします。
岩手県内で唯一の小型認定犬(ウメちゃん)も来るよ。

トリミング教室 Dog grooming school

- トリミング教室(随時受付) ※参加費のため人数に限りがございます

わんこの健康相談 Dog Health consultation

- 健康相談(随時受付) ※参加費のため人数に限りがございます

カフェコーナーOPEN!!

あさあけの園さんによる『コーヒー、クッキー、ケーキ』等の販売を
行います。

“ほかにほかに”が来店!!

“ほかにほかに”が宮古からやってきます!
三陸の海の幸をふんだんに使った、わんこ用のおやつを販売します。
・太鼓判 ・ほかにまるくん ・おさかなクッキー ・うまうまジュレ汁

わんわんバザー用品募集!!

10月30日の矢巾町健康福祉祭で使用するバザー用品を
募集しております。
ご不用品になったペット用品(洋服、リード、おもちゃ等)がございましたら
フェスタ当日にご寄附をお願いします。
貴犬家の輪を広げましょう。

わんパトサポーター募集!!

わんパトフェスタ当日のボランティアスタッフを募集しております。
わんこが好きな方大募集!!下記までご連絡ください。
TEL:019-697-5570(平日9時～17時)
E-mail:otasuke777@aquas.ocn.ne.jp
矢巾わんわんパトロール事務局

第2表

居宅サービス計画書 (2)

事業所名：ケナフ介護支援サービスセンター

利用者名	生活全般の課題(ニーズ)	長期目標(期間)	短期目標(期間)	サービス内容	保険	サービス種別	サービス機関	頻度	期間	
	物忘れが進行しているため家族介護の負担が増大している。地域での見守りを行いながら、本人の状態を理解できる環境で過ごす事により安心して生活したい。	現状の理解を行い、安心して生活できる。	H28/4/11～H28/10/31 7ヶ月間	見守りを受けた生活を行い介護を受けて安心して生活できる。	H28/4/11～H28/6/30 3ヶ月間	認知症進行による行動理解、生活動作全般の声掛け	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	適宜 2回/週	3ヶ月間
				排遣への声掛けや一部介助を行い行動の援助を行う	○ 家族	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	適宜 2回/週	3ヶ月間	
				現状のため自宅外を徘徊する恐れがあるため行動が明確になってしまふ。事前に、早期発見や安全保護の連携できる体制を整える。地域での見守りを行い本人、家族の生活を包括的に支援する。		○ インフォーマルサービス	SOSネットワーク(矢巾町地域包括支援センター)	適宜	3ヶ月間	
				余暇活動介助	○ 通所介護	○ インフォーマルサービス	わんわんパトロール(矢巾町地域包括支援センター)	適宜	3ヶ月間	
	部屋に閉じこもるだけでなく他者との交流の機会を持ちたい。	一日のリズムを保ち日々の生活を規則正しく送る事ができる。	H28/4/11～H28/10/31 7ヶ月間	外出の機会を持つ事で生活のリズムをつける。	H28/4/11～H28/6/30 3ヶ月間	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間	
				レクリエーション、軽運動	○ 通所介護	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間	
				季節行事や外出の参加	○ 通所介護	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間	
	心身の清潔を保つ環境があればよい。	定期的な入浴、清潔な環境に身を置くことで生活に意	H28/4/11～H28/10/31 7ヶ月間	介助を受けて生活を保つ事ができる	H28/4/11～H28/6/30 3ヶ月間	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間	
				洗身、洗髪一部介助	○ 通所介護	○ 通所介護	デイサービスセンター 百万石 矢幅駅西口	2回/週	3ヶ月間	

- ◆ 隊員がケアチームの一員に
- ◆ 隊員の存在と活動が、認知症支援をさり気なく普及啓発



隊長の荒川和彦さん

いつか自分が認知症になったとしても
「わんパト隊が見守ってくれるから安心」
と思えるように活動しています！
将来の自分のための活動かもしれません。

わたしが直面した**課題**
そして
どのように**対応**したのか！

Q. そもそも、何から始めればいいのか
分からない！



行政の担当者も実は同じ気持ちかも。
とことん話し合うことで、
お互いの「めざす姿」を一致させましょう。

行政からの指示を待っているだけではダメ。

こちらから提案した方がうまくいくことも！

Q.○○の協力が得られない！



活動をしていくうえで大切な**人材や組織**は地域にたくさんあります。

協力してほしいくてもなかなか理解や協力が得られない場合は、一旦、**あきらめる**ことも選択肢。

協力してくれる人から巻き込んで、だんだんに大きな渦を作っていきましょう！

Q. 「それは私の仕事じゃない！」



1つのケースに**複数の課題やニーズ**がある場合、だれ（どの機関）の担当するべき仕事なのか明確でない事が生じることがあります。

「本来の自分の仕事じゃない」と迷いながらも誰かがやらなければその時点で**支援にブレーキ**がかかってしまいます。

でも…グレーゾーン業務に向き合うには**覚悟**が必要。

Q. 専門職の人手不足

地域には「私もなにか活動がしたい」と思っている仲間がたくさんいます。

しかし、**福祉現場での人手不足**は思っている以上に深刻です。

専門職に協力をお願いしたいときは押し付けにならないように。
WIN-WINを意識しましょう。



今後、実施していききたいこと

◆ ご本人が地域で輝くこと

支えられるばかりでなく、地域の一員としてご本人が輝けるように支援したい。

… **社会参加・就労支援**

◆ 地域の方を見つけて、どんどんつながる

地域の貴重な人材が、活躍するきっかけと出番を待っています。既存の枠組みにとらわれることなく新しいつながり・枠組みを作り出したい。

「認知症支援」は「まちづくり」につながる！

◆つながりを大切に、育てる◆

新しいものを作るばかりではなく
既存の組織・仕組みを見直してみる。
そこにある「つながり」を大切に。



◆地域にとびだそう◆

地域の協力を得るには、ともに汗を流しましょう。
まずは自分が地域に貢献していくこと。



地域の力は必ずあります！

